

広報たしる

No. 337

昭和56年12月号

田代町総務課編集

1,500部発行



ミニバレー熱高まる

家庭婦人のみなさんの間でブームを呼んでいる「ミニバレー」(ビーチボールとよく似たゴム製のボールを使用)が田代町の婦人会の方々により取り入れられ、講習会を機会に大変な人気を呼び、十一月三十日には、第一回のミニバレーボール大会が開催され、大変な盛況ぶりでした。

バレーボールをやったことのない人も、ほとんどけがの心配もなくできるということで、これから子供から大人まで広く親しまれそうです。

場所もとらず、ルールもわかりやすく、しかも経験の有無を問わず、けがの心配もなくできる軽スポーツをみなさんも是非一度やってみて下さい。



勤め帰りに熱カンでキューッと一杯……。お酒のおいしい季節になりました。とくに十二月は忘年会など、酒を飲む機会が多くなりますが、同時に飲酒運転による交通事故も増えます。「ほんの一杯だけ」が命とりになりかねません。「飲むなら乗るな、乗るなら飲むな」の鉄則をドライバーの一人ひとりが自覚し、これを守るようにしましょう。

「ほんの1杯だけ」が命とり



アルコールは一種の「マヒ剤」

飲酒運転の実態をみますとまず、酒に対するドライバーの認識不足がめだちます。なぜ飲酒運転をしたか、という問いに対して、「あまり酔っていないかと思ったから」とか、「少ししか飲んでいないから」と答える人が多く、

ながらには「酔った勢いで」という無鉄砲なドライバーもいます。つまり、アルコールの影響を理解していないと言っているでしょう。アルコールは一種の「マヒ剤」となって運転に必要な「認知」「判断」「実行」の能力を大きく低下させます。酒が入ると、運転に次のような影響を与えます。

- ① ルールやモラルにむとんちやくになる
 - ② ものの識別や発見が遅れる
 - ③ ブレーキやハンドル操作が遅れがちになる
 - ④ スピード感がなくなる
 - ⑤ 無謀運転を無謀運転と感じなくなる
- これらのことから酒酔い・酒気帯び運転がいかに危険であるかが分かります。

道交法

すべての飲酒運転を禁止

道路交通法では「何人も酒気を帯びて自動車、原動機付自転車等を運転してはならない」と定めており、アルコールの量の程度を問わず、すべての飲酒運転を禁止しています。



「酒気を帯びて」というのは、一定の程度以上のアルコール、つまり「血液一ミリリットルにつき〇・五ミリグラム、又は呼気一リットルにつき〇・二五ミリグラム」を超えた濃度が認められる場合をいいます。

このような酒気帯び運転は三カ月以下の懲役または三万円以下の罰金に科せられるとともに、違反点数は六点で、運転免許は停止されます。

また、飲酒の影響で正常な運転ができない状態であれば血中のアルコール濃度に関係なく酒酔い運転となります。この場合は、二年以下の懲役または五万円以下の罰金に科せられ、違反点数は十五点で運転免許は取り消されます。

一方、実験によると、酔いがさめるのはかなり遅いので二日酔いにも十分な注意が必要です。

ドライバーに酒を勧めた人も罰せられます

飲酒運転で罰せられるのはドライバーだけではありません。これから車に乗ろうとする人に酒を提供したり、勧めたりすることも禁じられています。酒びたりになりやすい年末、ハンドルを持つ人も持たない人にも乗るなら飲むな！を徹底させたいものです。



「人権週間」

自二月一四日
至二月一〇日

「人権の共存」

互いに相手の立場を考慮して豊かな人間関係をつくらう。日本国憲法が施行されて三十年余りたちますが、この間立法・行政・司法・教育等の各種関係機関および民間有志が憲法に定められた基本的人権思想の普及高揚に努めたため、国民の間には自己の立場を擁護する権利意識が非常に高くなっています。

しかしながら、最近人権擁護機関が取り扱った人権侵害事件の動向をみますと、自分の社会的地位、経済力あるいは暴力に基づく有形、無形の圧迫によって、相手に対し義務のないことを行わせた、あるいは権利の行使を妨害する事件など、各種の人権侵害事件が年々増加する傾向にあります。そして、これらの事件のうちには、自己の権利のみ主張するあまり、他人の立場を忘れたり軽くみたりしていることに原因があるとみとめられるものが少なくありません。

自分の権利を主張するのは当然のことですが、同時にい

「婦人の地位を高めよう」

憲法第十四条に「すべて国民は、法の下に平等であつて人権・信条・性別・社会的身分又は門地により、政治的・経済的又は社会的関係において、差別されない」と定められてきていますが、現実をみると、今なお就労その他について男子と肩を並べるまでにはいたりません。この機会に、婦人の地位についても一度よく考えてみようではありませんか。

「障害者の完全参加と平等を実現しよう」

今年には障害者の社会への「完全参加と平等」という共通のローガンによって、国連に加盟しているすべての国が

木材引取税は申告納付

木材引取税は、素材（スギ・マツ・ヒノキ・広葉樹・その他針葉樹材）の引取に対し、容積を課税標準として、町税条例の定める税率により、立木の伐採後、最初の引取者に課することになっております。

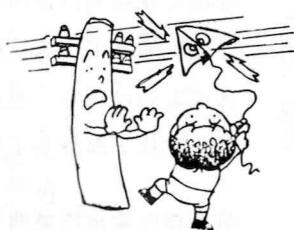
納付の方法は、毎月七日までに素材の種類・石数等必要な事項を記載した申告書を町

長に提出し、申告した税金を納入書により納入する申告納付です。

役場では木材引取者の完全にはあくが困難ですので、素材を最初に引取られた方は、遅滞なく役場税務課で申告書を作成し自主納付ください。

タコあげは電線のないところでタコあげのシーズンです。お父さま、お母さまへお願い。

電線の近くでは、タコを絶対あげないように、お子様へご注意ください。九州電力では五十四年度に全九州で、電線



にひっかかった約二四〇〇個ものタコを除却しました。電線にかかったタコは、危険ですから自分でとらずに、最寄りの当社営業所へご連絡

国民金融公庫からのお知らせ

＝国の進学ローンをお気軽にご利用下さい＝

公庫では「国の進学ローン」を取扱っております。この制度は高校や大学に進学されるお子さまの進学に必要な資金をご融資するもので手続きも簡単です。お申し込みの受付は1月4日から4月末日までですが、それ以前でも御相談を承っております。

- 融資額 1世帯あたり50万円まで
- 融資期間 修業年限以内（ただし4年以内）
○例えば 高校進学……3年以内
4年制大学進学……4年以内
- 利率 利用時の金利 年8.5%
（利率は変わることがあります）
- 取扱先 公庫窓口・銀行・相互銀行・信用金庫
信用組合・農協・漁協等

くわしいことは、当公庫の支店または、各金融機関の窓口で御説明いたします。お気軽に御相談ください。

訂正とお詫び

十一月号掲載の狩猟期間の十一月十五日～一月二十五日は「十一月十五日～二月十五日」までの誤りでしたので訂正してお詫びいたします。

要です。夜遅くまで、多量に酒を飲んだあくる日は飲酒運転になる可能性があるからです。



西郷南州銅像前にて

家庭教育学級だより

私たちの家庭教育学級は、一年生のお母さん達を中心としたものですが、全学年のお母さん方も含めております。今年で五年目になります。月一回の講座を設け研修にいらして下さいます。

ちなみに年間の主な講座を紹介いたします、(1)子どもの家庭でのしつけ、(2)母親の在り方や保健指導、(3)おやつづくり方、(4)タコづくり方、(5)楽しい合唱、(6)映画鑑賞等母親としての教養を身につけるための学習をしております。学習の一部を紹介いたします。

これは去る十一月十三日、午前十一時四十分より南部消防署員の指導のもと避難訓練を実施したひとこまである。

「理科室より出火、延焼の恐れがあるので避難せよ。」と通報。と同時に非常ベルの合図で全校児童がすばやく校庭ロータリーの前に避難を開始、二分たらずで指示された位置に集合した。

これは去る十一月十三日、午前十一時四十分より南部消防署員の指導のもと避難訓練を実施したひとこまである。

十一月十三日、学級生二十名を乗せた車は午前八時田代農協前を出発、一路鹿児島市へ。袴腰に着くと桜島も相変わらず噴煙を秋空高くなびかせていた。

先づ県立博物館へ。館内には動植物は乳類の展示をはじめ、桜島の模型、ロケットによる人工衛生の打ち上げ、交通パノラマの説明などがあつた。次は市立美術館へ。こゝでは洋画彫刻、薩摩焼等を見学した。昼食後は一時半よりMBCスタジオ等を見学、記念写真を撮り帰途についた。帰りの車中ではママさん達のコーラスを聞きながらの楽しい一日でした。

田代小学校

第十一回文化祭

田代分校

また、その後校庭で児童のバケツリレーや消火器によつての消火の手ほどきを受け、秋の防災訓練を終了した。

即売会では、家庭科の手芸品、男子の竹細工(竹ぼうき等)が出品され、バザーではうどん・そば・おにぎり・ぜんざい等が用意され、特にうどん・そばの汁のでき具合がよく、おいしかったと好評だ

また、その後校庭で児童のバケツリレーや消火器によつての消火の手ほどきを受け、秋の防災訓練を終了した。

去る十一月十三・十四日に文化祭を開き、かねての学習や研究活動の成果を発表した。十三日は校内発表の日で、書道・写真・美術・生物クラブ・家庭科作品等の展示会と柔・剣・空手道の演武・劇等の発表会があつた。発表会では舞台の幕間利用の”とび入り”があり、山崎校長先生の歌「青春時代」が披露されるなど、楽しい一日を過ごした。

二日目の十四日は一般の方々にも観ていただく日で、展示会、ステレオ・コンサート、バザー、即売会、映画会等が開かれた。



児童の消火練習

また、映画会では「はだしのゲン」を観て泣き笑いするなかで戦争と平和について考えた。

三年生が作った創作劇「冬の海に」では、転校生によつて引き起こされた波紋のなかで、現代高校生の孤独や哀歓が繰りひろげられ、友情のすばらしさを訴えかけていました。

二年生女子は、池田の笹原部落の郷土芸能「銭太鼓」を「ギンギラギンにさりげなく」の曲で踊って、やんやの喝采を受けました。



友情出演の「田代グリーン・カントリー・バンド」は当校の長浜洋治教諭や卒業生もそのメンバーとなつており、この日は松田聖子の「青い珊瑚礁」等を聴かせていただきそのすばらしい演奏に惜しみない拍手が送られました。

生徒たちが顧問やその他の教師の指導を受けながら、積極的に計画し、練習して、ほとんど全員出演となる当校の文化祭は、いかにも芸術の秋にふさわしい郷土色を生かした文化祭であり、参加してくださったご父兄や卒業生、地域の方々にも喜んでいただけたことと思います。

ください。

・タコをとろうとして電柱にのぼるのはやめましょう。

・タコをとろうとして、糸をひっぱったり電線を竹ざおなどでつづくのは大変危険です。

ひっかかったタコのために停電して近所のみなさまに大変迷惑をかけることがあります。

国民年金未納
国民年金の加入期間に、未納期間、免除期間のある被保険者の方について、次により保険料の徴収を行います。当日は年金相談所を開設し、皆様の相談に応じます。

国民年金未納 保険料の徴収について

日時及び場所
昭和五十六年十二月二十二日
九時三〇分～十一時三〇分
西大原公民館
十三時～十四時三〇分
上柴立公民館
十四時四〇分～十五時三〇分
開発センター

働きの多い国民死亡順位
わが国における国民死亡順位を見ると肝臓病のなれの果ての肝硬変は三十才～四十四才では第六位、四十五才～五十四才が第五位、五十五才～六十四才では第四位と次第に上昇しており、死亡率も増加傾向にあります。その肝臓は横隔膜の真下にデーンと位置し、1.2k～1.5kの横綱格の大きさで、非常に粘り強さを持ち、丈夫でもある。しかしこの肝臓も色々の病魔にねらわれる機会が多い。中でも一番かかりやすく、肝硬変や肝癌との関係も深く、問題なのが慢性肝炎です。原因の大部分は肝炎ウイルスによると見られるがその他にも、糖尿病とか心臓病、高血圧等の薬のように長期間飲み続ける薬で肝臓に障害をおこす場合もあり、時々肝臓の働き具合の点検も必要だ、さらに大きな原因の一つとしてアルコールを忘れる事はできない。アルコール飲酒量が増えているのに伴い肝臓病の激増が現実の問題となつてきた。毎日欠かさずことなく飲むことは肝臓が四六時中アルコール代謝に全力投球

保健だより

している事で長い間に大変な負担になり、どんな丈夫な肝臓でも疲れ切つてついに、脂肪肝や肝炎、肝硬変を起すことになる。そこで肝臓病の症状を見ると、肝臓は何千億の細胞からなり再生力も盛んでちよつとやそつとの障害ではネをあげず症状を現わさない為気付くのが遅れがち、急性肝炎の場合は熱が出て、少し下がると黄疸、全身のだるさ、食欲不振、はき気を伴うといった症状が一般的であるが、その他肝臓病を疑うものとしてはまず疲れやすく、酒量が落ちる、朝寝起きの調子が悪く仕事の根もなくなる肌がなんとなく黒ずんでつやがなくなる。手の平が赤くなるといったもの、まず疲れやすくなつたら一度精密検査を受けましょう。そして肝臓病に共通して言える大事な事は安静と食事療法、過労に注意しバランスのとれた食事、農薬散布に注意し、肝臓病から身を守りましょう。

町民のうごき

基本台帳人口		前月との増減	
56年11月1日現在			
男	2,191人		19人
女	2,355人	△	1人
計	4,546人		18人
世帯数	1,469戸	△	1戸

戸籍に関する情報は
ホームページ上では
掲載していません

町制施行20周年記念

第五回文化祭を挙

十一月三日文化の日、本町の町制施行二十周年を祝う式典と文化祭が挙行された。今年には午前中式典が行われ、



ママさんコーラスの合唱

文化祭は午後から実施された。二十周年を祝うはなやかなムードの中に、菊・蘭・万年青刀剣・文化財・書・絵画・生花・本町の代表的なパネル集などが展示され、さらに色どりを添えていた。舞台では民踊・詩吟・郷土芸能・三味線コーラスなど多彩な催しが行われ、本町の文化水準の高さを示した。

また、青年団によるバザーも好評で、売上げ上々であつたらしい。

ご協力いただきました方々に厚くお礼申し上げます。

小組合対抗バレーボール大会

十一月十二・十三日実施

本年度は十八チームが参加して小組合対抗バレーボール大会が行なわれました。二十才代、三十才代、四十才以上の年代別に各三名ずつでチームを編成しましたが、なかには男性だけでは足りず女性にかせいをもらって出場し、勝ち残った小組合もありました。大会の趣旨は地域の若者や成壮年部が集まり、バレーの練習や試合を通して共に汗を

結果は次のとおりでした。

◎優勝

盤山

準優勝

馬場

三位

中村・鶴園

親切運動推進月間

サンライフ運動の一環として、豊かでぬくもりに満ちた明るく住みよい郷土・田代をつくるため、十二月十五日より来年一月十四日までを「親切運動推進月間」と設定し、町民総ぐるみの運動として展開します。

お互いに小さな親切を実践することにより、失われた人間性をとりもどし、連帯感に満ちた暖かい社会をつくりましょう。

お年寄りや子ども達に対して愛の声かけや手助けなど身近なところから小さな親切を進めましょう。



熱戦が続く！

第七回肝属地区芸術祭開催

十一月二十二日第七回肝属地区芸術祭が串良町民会館で実施された。地区内十一の市町からそれぞれ舞台発表が行



雨乞い最後の場面

われ、肝属地区の芸術文化を被露した。

本町から今年には「川原民謡グループ」の「雨乞い」が発表された。同グループの発表は、かねて行っている民謡の発表に、この地で昔から行われていた「雨乞い」を創作劇として加えて発表したものでその創作活動は高く評価されたようである。

出演者及び理事の皆さん方ごころうさんでした。

◎個人の部

学生・折小野、小野
一般・森村、西村、凶師

第四回町民卓球大会

十一月二十三日、開発センター大ホールに百十余名の卓球愛好者が集り、町民卓球大会が開催されました。

本年度は大原卓球同好会や三共建設卓球同好会の団体チームが参加し、大会を盛りあげてくれました。結果は次のとおりでした。(優勝のみ)

◎団体の部

男子の部 田代中学校

女子の部 大原卓球同好会



個人戦学生の部入賞者